

鎌倉市に政策・制度要求と提言を提出

～2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて慢性渋滞対策や

フリーWi-Fi・ICT化インフラの整備などを要望～



10月15日(月)10時30分から鎌倉市の松尾崇市長に2019年度に向けた政策・制度要求と提言の提出を行いました。

鎌倉市は国際観光都市として発展する一方で道路の慢性渋滞など多くの課題がある中、2020年には東京オリンピック・パラリンピックも控えており、更に観光客が増えていく予想です。

三浦半島地域連合として2020年を見据え、道路慢性渋滞解消に向けた①『ロードプライシング』推進②自転車通行帯の整備③渋滞検知センサーが設置され

ていない渋滞予想箇所へVICSの導入④無電柱化の推進などを、更にはフリーWi-FiなどICT化インフラの整備を要望しました。

要望は鎌倉市としても大きな課題として取組みを行っているものの、フリーWi-Fiについても利用者が多すぎて繋がらない、無電柱化は条例化し、新しい電柱は極力つくらないなどの推進を考えているとのことでした。

最後に毎回訴えている各市町だけではなく、4市1町での連携強化を進め三浦半島全体の活性化をお願いするとともに4月に行います4市1町首長懇談会への出席協力をお願いしました。

2019年に向けた政策制度要求と提言は10月19日に逗子市・葉山町・三浦市・横須賀市にも提出する予定です。

